



## 展覧会 「赤崎水曜日郵便局 水曜日の消息」 東京渋谷で開催



発行 KADOKAWA  
 定価 本体 1,200 円＋税  
 ISBN 978-4-04-731994-3

編著：楠本智郎 つなぎ美術館 主幹・学芸員  
 1966年福岡生まれ。鹿児島大学大学院人文科学研究科修士課程修了。2001年から現職。社会教育事業としてのアートプロジェクトを考案し、アーティストと住民が年間を通じて地域資源を活用しながら表現活動に取り組む「住民参画型アートプロジェクト」を2008年から実施している。近年は地域密着型アートプロジェクトの功罪を踏まえたうえで都市部から離れた地域におけるアートの可能性を探っている。「赤崎水曜日郵便局」プロデューサー兼管理人。

### 概要

「赤崎水曜日郵便局」は、つなぎ美術館が主催する熊本県津奈木町の廃校になった海の上の赤崎小学校を利用した住民参画型アートプロジェクトとして、映画監督の遠山昇司とアーティストの五十嵐靖晃の原案をもとに2013年6月に開局しました。自分の水曜日の物語を送ると知らない誰かの水曜日の物語が届く、ちょっと不思議なプロジェクトとして全国で話題となり、2016年1月には101通の手紙とプロジェクトの概要を掲載した書籍『赤崎水曜日郵便局』（楠本智郎編著／KADOKAWA）も刊行されました。2016年3月には2年9か月におよぶ活動に幕を閉じましたが、全国から届いた9,000通を超える水曜日の物語は、つなぎ美術館の収蔵品として大切に保管されています。本展では、つなぎ美術館で2016年2月6日から4月17日まで開催した展覧会「赤崎水曜日郵便局 水曜日の消息」で紹介した手紙の中から100通を選んで展示します。

8月8日（月）夕方には「赤崎水曜日郵便局」のプロデューサー兼管理人で書籍『赤崎水曜日郵便局』の編著者でもあるつなぎ美術館学芸員の楠本智郎、同書の表紙絵と挿絵を描いたイラストレーターの小池アミイゴ、同書版元KADOKAWA編集者の谷村昌平が来店予定です。

名称	赤崎水曜日郵便局 水曜日の消息
会期	2016年8月4日（木）～8月21日（日）
会場	パドラーズコーヒー西原本店 東京都渋谷区西原 2-26-5
時間	7:30～18:00
定休日	毎週水曜日
観覧料	無料
主催	つなぎ美術館
協力	パドラーズコーヒー
企画	楠本智郎（つなぎ美術館 主幹・学芸員） 小池アミイゴ（イラストレーター）
問い合わせ先	つなぎ美術館 〒869-5603 熊本県葦北郡津奈木町岩城 494 TEL：0966-61-2222 パドラーズコーヒー西原本店 〒151-0066 東京都渋谷区西原 2-26-5 TEL：03-5738-7281

「赤崎水曜日郵便局」参加アーティスト 遠山昇司 五十嵐靖晃 加藤笑平 玉井夕海

「赤崎水曜日郵便局」公式ホームページ <http://www.akasaki-wed-post.jp>